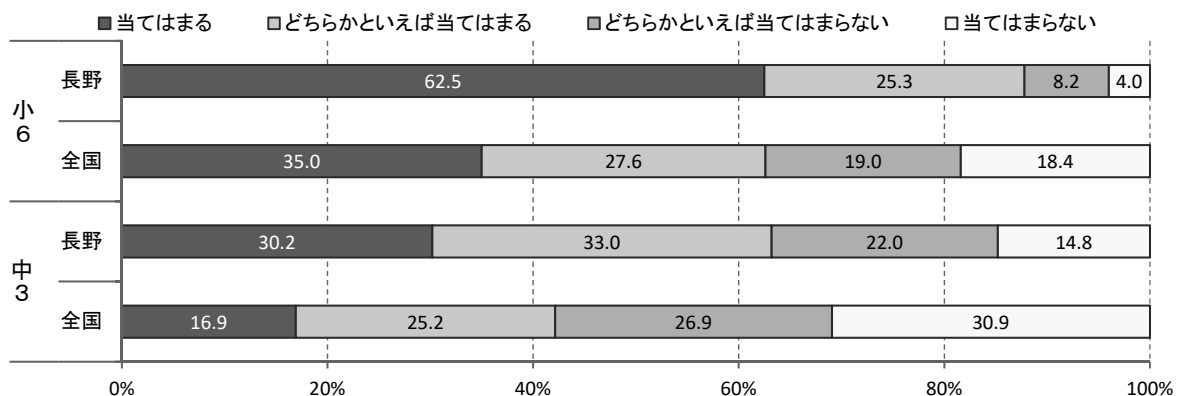


(2) 長野県・地域を学ぶ体験学習

現状と課題

- 子どもたちの、自らが育つ長野県の特徴やよさを学ぶ機会を充実させるため、地域や学校の特徴を活かしたカリキュラムや、長野県や地域のよさを子どもたちに伝える取組が求められています。
- 子どもたちの外遊びや集団活動の減少に伴い、自然の中や地域で遊ぶ経験や子どもたち同士の人間関係形成力等が低下してきています。
- 社会の急激な変化に適応し、たくましく生き抜く力を育む上で、自然の中での直接体験を通して、仲間とふれあい、自然から学ぶ自然教育・野外教育の充実が、一層求められています。
- 幼保小中高を通じ、自然を通して「生き抜く力」を育成するため、信州ならではの豊かな自然を教育資源として有効活用したプログラム開発や外部機関との協働、指導者の養成が求められています。

図2-(2) 「地域の行事に参加している」と答える児童生徒の割合



文部科学省「平成29年度 全国学力・学習状況調査」

目指す成果

- ◆ 子どもたちが郷土に誇り・愛着を持てるようにします。
- ◆ 子どもたちが豊かな自然や地域の文化を効果的に体験できる環境を整備します。

主な施策の展開

長野県・地域を学ぶ体験学習を推進するために、次のような取組を進めます。

① ふるさと教育の推進

- 長野県の豊かな自然や地域の文化に関わる体験的な学びを充実させるために、地域教材を扱った事例等の整備、提供に取り組みます。
- 自らが生まれ育った地域の文化・産業・自然などを理解し、ふるさとに誇りと愛着を持ち、ふるさとを大切にする心情を育む、地域に根ざした探究的な学びである「信州学」を推進します。
- 県内の歴史や文化、地域課題等を学ぶ拠点づくりと情報提供を推進します。
- 児童を対象とした疎水やため池、棚田など先人が築いた歴史的な農業資産の現地見学会や地域学習の開催など、農業・農村の多面的機能の理解促進と郷土愛を育む取組を推進します。
- 子どもたちの年間を通した農業体験や農村地域の活性化に取り組む農村生活マイスター等による伝統料理講習会等の開催を通じて、食や農業に関する理解を深める取組を推進します。
- 地域の農畜産物を活用した信州の味コンクールの開催や伝統野菜の調理方法の紹介などを通じて、地消地産や食文化の継承のための取組を推進します。
- 県内大学、自然史系博物館、小・中・高等学校の理科教員等と連携し、郷土の自然を生かした地学教材開発と教育プログラム構築の研究に取り組みます。
- 県歌「信濃の国」を活用し、ふるさと信州を学び直すことにより、郷土に誇り・愛着を持ってもらえる取組を、市町村や各種団体と協働しながら推進します。



地元の方から伝統的な郷土料理を学ぶ

② 自然教育・野外教育、環境教育の推進

- 自然を愛する心情を育むとともに、自然の不思議さや素晴らしさを実感できる教育を推進します。
- 自然を通して子どもたちの「生き抜く力」を育むため、信州ならではの自然教育・野外教育を推進します。
- 自然教育・野外教育に係る人材情報等の整備、提供に取り組みます。
- 異年齢の小・中学生同士が野外体験活動を共にし、野生鳥獣との関わり方などを学ぶ自然体験キャンプを、大学等と連携して実施します。
- 本県発祥の山村留学など、信州で暮らし、学ぶ特色ある施策についての魅力発信を行います。
- 子どもたちの学ぶ意欲や自然に対する興味・関心を高めるための環境教育や、自然とのふれあい活動を推進します。



ビオトープでの昆虫学習

- 環境教育に主体的に取り組む「こどもエコクラブ*」などの活動を、関係団体との連携を図りながら支援します。
- 水辺における生物とのふれあいを通じて、子どもたちに水の大切さを知ってもらわせせらぎサイエンス*の普及を推進します。
- みどりの少年団*活動などの自然に親しみ、利活用しながら学ぶ活動を通じて、ふるさとの自然環境の大切さを理解する心を育みます。

成果指標

| 成果指標項目 | 現 状 | 目 標 | 備 考 |
|-----------------------------------|-------------------|-------------------|--------------------|
| 「今住んでいる地域の行事に参加している」と答える児童（小6）の割合 | 87.8% (2017年度) | 90.0% (2022年度) | 文部科学省「全国学力・学習状況調査」 |
| 「今住んでいる地域の行事に参加している」と答える生徒（中3）の割合 | 63.2% (2017年度) | 64.0% (2022年度) | 文部科学省「全国学力・学習状況調査」 |

※ 目標の年次は、本計画の最終年度の実績を評価する2023年度に把握できるものとしています。

特色ある取組

県立高校における「信州学」の取組

長野県の県立高等学校では、自らが生まれ育った地域を理解することで、ふるさに誇りと愛着をもち、ふるさを大切にする心情を育む、信州の未来を考える「探究的な学び」の総称である「信州学」を推進しています。

「信州学」は、地域の文化・産業・自然などを学ぶことによって、生徒一人ひとりの郷土愛を育み、郷土観を確立することで、地域活性化や地域づくりへの動機づけを図り、地域を担う人材を育成することをねらいとしています。

学校では、冊子『わたしたちの信州学』を参照しながら、「総合的な学習の時間」などで身近な課題についてフィールドワークを行い、グループで討論し、その成果をまとめ発表する活動などを行っています。具体例としては、地域の名産品を次世代につなぐ活動や、地域の地質・文化・自然を学びながら地元の良さを地域に再発信する取組が行われています。



「信州学サミット2017」～信州・学びの旅に出よう～

高校での取組だけにとどめず、家庭、地域、産業界も一体となり社会全体で「信州学」を推進していこうとする気運を高め、「信州学」の意義を普及・啓発する取組として、「信州学サミット2017～信州・学びの旅に出よう～」を実施しました。